



最上エコボリスの実現
=豊かな自然 輝くもがみ=

小国川だより

最上小国川治水対策について、お知らせします。

小さなダム・大きな仕事 最上小国川ダム

第31号

平成23年6月23日発行

山形県 最上総合支庁
建設部 河川砂防課

最上小国川ダム事業の検証に係る対応方針について（3）

対応方針のうち、今号では「各治水対策案の評価」の「環境への影響」と「総合的な評価」について報告します。

5. 各治水対策案の評価（2）

「環境への影響」のうち「生物の多様性の確保※）及び流域自然環境保全への影響」について、評価した結果を下記に示します。
※生物の多様性の確保；生態系の維持

表 各治水対策案の比較一覧

評価軸	評価の考え方	治水対策案		評価
●環境への影響	●生物の多様性の確保及び流域の自然環境保全への影響	(1)ダム(流水型ダム)案	(2)遊水地案	ダム(流水型ダム)案は魚類(アユ等)の成育や生態に対しての影響は小さいと考えられる。遊水地案、放水路案は陸上生物の移動性への影響、河道改修案は河道内環境の改変による水中の生物への影響があるものと考えられる。
		魚類(アユ等)の成育や生態に対しての影響は小さい。	遊水地の建設により、陸上生物の移動性への影響が考えられる。	
		(3)放水路案	(4)河道改修案	
		一部区間の開水路により、陸上生物の移動性への影響が考えられる。	河道改修により河道内の環境が改変されることから、水中の生物への影響が考えられる。	

6. 総合的な評価

【総合的な評価の考え方】

要領細目では、各治水対策案を対象に7つの評価軸(30号裏ページ参照)によってそれぞれの確かな評価を行った上で、財政的、時間的な観点を加味して右に示す①～③の考え方で総合的に評価を行うこととされています。

【総合的な評価】

各治水対策案を対象に評価を行った結果、コストではダム(流水型ダム)案が最も有利であり(右図参照)、効果の発現時期でもダム(流水型ダム)案が概ね5年後と最も早い。

さらに、その他の評価軸である実現性、地域社会への影響、環境への影響、柔軟性などの評価結果からも、ダム(流水型ダム)案が最も有利である。

以上の評価結果から、最上小国川の治水対策案としてダム(流水型ダム)案を最良な治水対策と評価しました。

なお、自然環境保全については、河川整備計画の配慮事項に基づき、動植物の生息・生育環境等について今後も継続的に調査するとともに、事業の実施にあたっては、流水型ダムの最新の知見や技術を活用しながら、自然環境に与える影響に十分配慮しながら進めることとします。

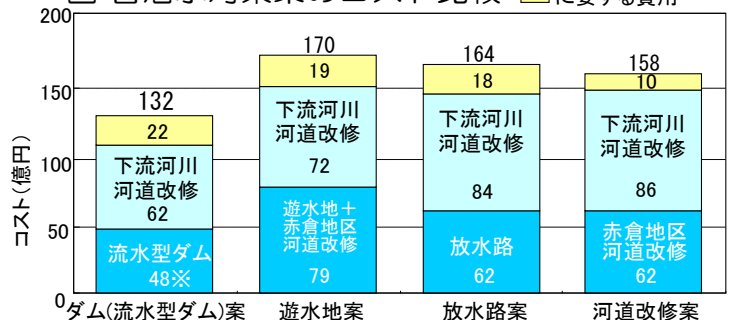
また、事業の必要性を様々な機会を捉え

- ①一定の「安全度」を確保することを前提として、「コスト」を最も重視する。
- ②一定期間内に効果を発現するか、など時間的な観点から見た実現性を確認する。
- ③最終的には、環境や地域への影響を含めて全ての「評価軸」により、総合的に評価する。

て、流域住民や関係者に対して丁寧に説明し理解と協力を得ていくこととします。

以上で「最上小国川ダム事業の検証に係る対応方針」の報告を終了します。

図 各治水対策案のコスト比較 ■ 50年間の維持管理に要する費用



※流水型ダム事業費48億円；要領細目でコストは現時点から完成するまでの費用とされています。(ダム総事業費；64億円－これまで要した費用；16億円＝残事業費；48億円、30号裏ページ参照)

対応方針の詳細は下記県HPを参照してください。

<http://www.pref.yamagata.jp/ou/kendoseibi/180006/damseibi/kensho/houshin.html>

最上小国川ダム事業の検証に係る対応方針の説明会について

5月14日、15日に「最上小国川ダム事業の検証に係る対応方針」について県民の皆様幅広く知っていただくため、新庄市と山形

市の2会場で説明会を開催しました。説明会の状況について報告します。

【新庄会場】

日 時 平成23年5月14日(土)
午後1時～午後2時30分
場 所 新庄市民文化会館
2階小ホール

参加者 44名

ご質問

・ダムを作ると鮎がいなくなるという風評被害が心配である。アユのモニタリング調査はいつからいつまで行うのか。

回答

・アユの餌である藻類の生育状況等について、完成後も一定の期間継続してモニタリングを行う。

ご意見

・安全、安心を早く確保してほしい。
・一日も早く着工してほしい。

【山形会場】

日 時 平成23年5月15日(日)
午後1時～午後2時30分
場 所 山形国際交流プラザ
山形ビッグウイング
4階 中会議室

参加者 11名

ご質問

・以前の説明ではダムの穴が一つだったが、現在は2つになっている。理由は何か。

回答

・模型実験を行い、維持管理も考慮した最適な形状としている。

ご意見

・ダム完成後に穴にゴミが詰まったりしないよう、維持管理をしっかりとってほしい。
・一日も早い治水対策により、安全安心を確保するとともに、ダム事業が地域づくりの要となるよう願っている。



新庄会場；新庄市民文化会館



山形会場；山形ビッグウイング

説明会の資料については下記の県HPを参照してください。

<http://www.pref.yamagata.jp/ou/kendoseibi/180006/damseibi/kensho/setsumeikai.html>

内水対策事業連絡調整会議について

5月10日最上町赤倉地内の「せんしん館」で、「第1回内水対策事業連絡調整会議」を開催しました。

この会議は、これまで開催した「内水対策検討会」の結果を基に、事業執行に当たっての課題を解消し、円滑に事業を実施するための情報交換を行うために、今年度から新たに立ち上げました。

会議の内容を下記に報告します。

- ①連絡調整会議の設立趣旨とその内容を説明。
- ②内水被害軽減策の全体計画(案)とその計画(案)についての今後の施工方針(案)を確認。
- ③上記②のうち、平成23年度の山形県(河川管理者)に係る施工予定内容を提示。

発行：山形県 最上総合支庁 建設部 河川砂防課 最上小国川ダム建設室 高橋・後藤
〒996-0002 山形県新庄市金沢字大道上 2034
お問合せ先 電話 0233-29-1407 Email -【前画面を参考にしてください】

バックナンバーは県HPからダウンロードできます。アドレスは下記のとおりです。

http://www.pref.yamagata.jp/regional/mogami_bo/news/news/7314074ogunigawa_news.html